

# 腫瘍内科

がん治療の指南役となり最新最良のがん薬物治療をチームで実践しています

## 【最新最良のがん医療の実践】

- 1) 肺がん、乳がん(術前術後)、消化器がん、肉腫、神経内分泌がん、希少がん、原発不明がんなどの診療を、消化器外科、呼吸器内科、消化器内科と共同で実践しています。
- 2) キャンサーボード(複数科、多職種によるがん症例検討会)を毎週水曜日に実施しています。
- 3) 薬物療法センターで当日朝外来抗がん剤治療全例について 薬剤師、看護師とともにカンファレンスを実施し安全な実施をサポートしています。

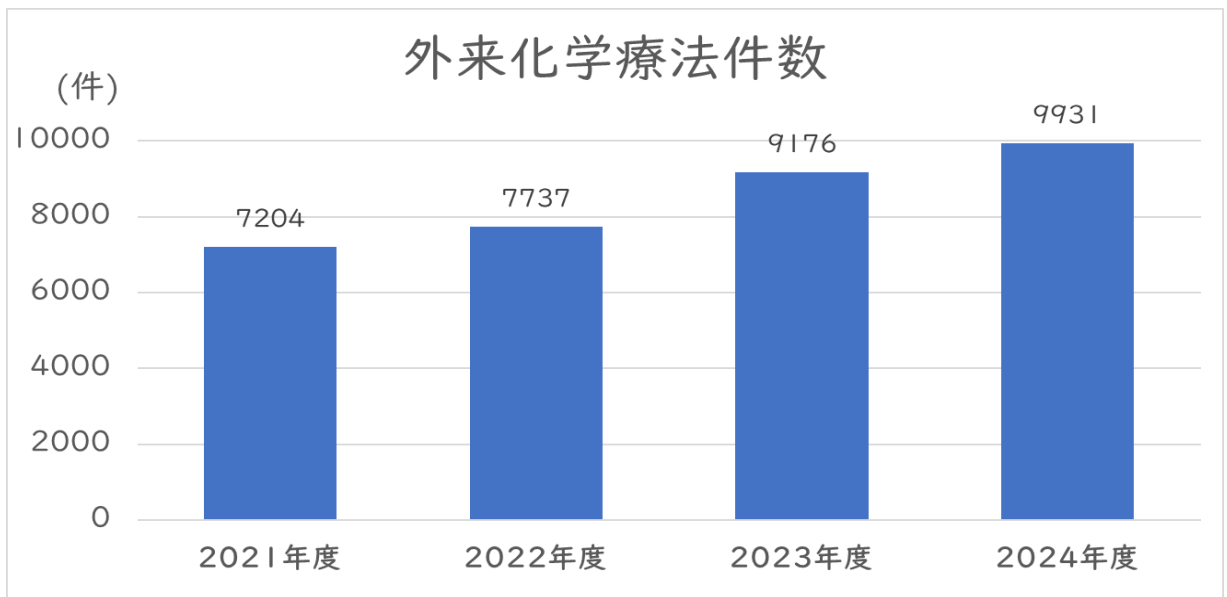


## 【チームでがん患者さんを全人的にサポートする】

通院治療センター(センター長 檜原 淳 副院長)内には、薬物療法センター、腫瘍内科、放射線治療科、がんゲノム診療科、緩和ケア科外来が併設されています。また、がん専門の薬剤師、看護師、MSWも常駐しており、今後の療養先の検討を含めがんの治療の全人的サポートがスムーズにできます。

## 【外来化学療法数】

外来化学療法件数は約1万件まで増加しました。



## 【スタッフ紹介】

▶ <sup>きたぐち そういち</sup>北口 聡一 (H1年卒)  
 ○役職:腫瘍内科主任部長  
 ○専門:呼吸器/希少がん/  
 化学療法

▶ <sup>やまきた いちこ</sup>山北 伊知子 (H18年卒)  
 ○役職:腫瘍内科部長  
 ○専門:消化器/希少がん/  
 化学療法/がんゲノム

▶ <sup>わたなべ まさこ</sup>渡部 雅子 (H20年卒)  
 ○役職:腫瘍内科部長  
 ○専門:呼吸器/希少がん/  
 化学療法

## 【腫瘍内科利用他科専門医】

▶ <sup>ひはら じゅん</sup>檜原 淳 (H2年卒)  
 ○役職:副院長/通院治療センター長  
 ○専門:消化器(食道/胃)

▶ <sup>あだち ともひろ</sup>安達 智洋 (H16年卒)  
 ○役職:消化器外科部長  
 ○専門:消化器(大腸)

▶ <sup>ゆくたけ まさのぶ</sup>行武 正伸 (H15年卒)  
 ○役職:肝胆膵内科主任部長  
 ○専門:胆のう/膵臓

▶ <sup>まさき けいいち</sup>榎木 慶一 (H18年卒)  
 ○役職:肝胆膵内科部長  
 ○専門:肝臓

▶ <sup>せきとう つよし</sup>關藤 剛 (H22年卒)  
 ○役職:肝胆膵内科副部長  
 ○専門:胆のう/膵臓

▶ <sup>にし の りょうへい</sup>西野 亮平 (H10年卒)  
 ○役職:呼吸器内科部長  
 ○専門:呼吸器

| 外来診療担当 | 月  | 火                          | 水           | 木    | 金            |
|--------|----|----------------------------|-------------|------|--------------|
| 1診     | 北口 | 渡部                         | 西野          | PM北口 | 渡部           |
| 2診     | 山北 | 關藤                         | 山北          | AM山北 | AM檜原<br>PM關藤 |
| 3診     | 行武 | AM<br>榎木/山北/行武<br>PM<br>行武 | AM<br>安達/行武 | -    | PM行武         |

※消化器内科、消化器外科、呼吸器内科専門医も通院治療センター内の腫瘍内科外来で診療実施中

## 【カンサーボード】

カンサーボードでは、外科、内科、放射線科及び担当科の医師と認定薬剤師、認定看護師が、一同に参集し原発不明がん、消化器がんなど患者の診断と治療について情報を共有し叡智を結集して

最良の医療を検討します。

日本の腫瘍内科を先導する

東京科学大学病院

臨床腫瘍科科長 浜本康夫教授、

広島大学病院 がん化学療法科

科長 岡本渉教授の参加も頂いて

最新の知見も得ながら

運営実施しています。



▲腫瘍内科ページ

